

分野ごとの重点取組・重点事業（イメージ）

障がい者保健福祉計画（札幌市障がい者プラン） 2011/5/26計画策定会議

分野 1 理解促進

< 障がい児者実態等調査から >

障がい者に対するアンケート調査

- 障がいのある人に対する市民理解
 - 深まっていると思う（10.2%）
 - まあまあ深まっていると思う（21.4%）
- 障がい者への理解を深めるために必要なこと
 - 福祉教育の充実（48.6%）
 - ボランティアの育成（38.2%）

障がい児（保護者）に対するアンケート調査

- 障がいのある人に対する市民理解
 - 深まっていると思う（3.2%）
 - まあまあ深まっていると思う（16.3%）
- 障がい者への理解を深めるために必要なこと
 - 福祉教育の充実（75.7%）
 - ボランティアの育成（52.1%）

市民意識調査

- 障がい福祉関連計画の認知度
 - 知らなかった（約70%）
- 障がいのある人と気軽に話したり、手助けしたりしたことある（70.7%）

基本方針

障がいのある人もない人も、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会の理念の普及を図ります。

すべての市民が地域で安心して暮らすことができるよう、障がいに関する市民理解を促進します。

市民や企業の自主的な福祉活動を支援・推進し理解促進を図ります。

基本施策1 啓発・広報活動、福祉教育などの推進

重点取組・重点事業（イメージ）

関連法令・計画の周知

心のバリアフリー、理解促進

福祉教育

基本施策2 公共サービス従事者などに対する理解促進

重点取組・重点事業（イメージ）

研修等の実施（公的機関、介護事業者、医療機関、教育機関など）

基本施策3 障がいのある人に対する権利擁護等に係る啓発・広報

重点取組・重点事業（イメージ）

北海道障がい者条例の啓発・広報

基本施策4 ボランティア活動・社会貢献活動の理解促進

重点取組・重点事業（イメージ）

ボランティア活動の支援

< 障がい児者実態等調査から >

障がい者に対するアンケート調査

- ・ 現在受けている障害福祉サービスの内容についての満足度
満足している (31.8%)
おおむね満足している (37.9%)
- ・ 障害福祉サービスで支払っている利用者負担の負担感
特に負担とは感じない (30.2%)
これくらいの負担はやむをえないと思う (25.1%)
- ・ 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと
利用手続きの簡素化・迅速化 (55.2%)
緊急時への対応 (44.4%)
- ・ 外出するときに困っていること
特にない (31.8%)
交通費がかかる (25.2%)
- ・ 希望する生活をするためにあればいいこと
高齢になっても安心して生活できること (56.5%)
困ったときに相談できて教えてくれる場所 (36.9%)

障がい児(保護者)に対するアンケート調査

- ・ 現在受けている障害福祉サービスの内容についての満足度
満足している (19.6%)
おおむね満足している (44.0%)
- ・ 障害福祉サービスで支払っている利用者負担の負担感
特に負担とは感じない (14.4%)
これくらいの負担はやむをえないと思う (28.8%)

- ・福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと
 利用手続きの簡素化・迅速化（65.4%）
 緊急時への対応（57.4%）
- ・外出するときに困っていること
 安心して利用できる施設・トイレが少ない（26.6%）
 特にない（26.0%）
- ・希望する生活をするためにあればいいこと
 高齢になっても安心して生活できること（40.3%）
 困ったときに相談できて教えてくれる場所（31.2%）

施設入所者調査（身体障がい）

- ・地域生活への移行について本人の意向
 地域生活をしたいと思っている（4.5%）
 地域生活に関心がある・興味を示している（4.5%）
- ・希望する居住形態
 グループホーム等（31.8%）
 持家（18.2%）
- ・退所に向けての問題点
 夜間や緊急時の支援に不安（39.3%）
 住まいの確保が困難（36.4%）

施設入所者調査（知的障がい）

- ・地域生活への移行について本人の意向
 地域への移行が決まっている（0.1%）
 地域生活をしたいと思っている（3.2%）
 地域生活に関心がある・興味を示している（5.8%）
- ・希望する居住形態
 グループホーム等（54.0%）

- ・退所に向けての問題点
 - 住まいの確保が困難（42.2%）
 - 夜間や緊急時の支援に不安（40.2%）

施設入所者調査（精神障がい）

- ・地域生活への移行について本人の意向
 - 地域への移行が決まっている（8.7%）
 - 地域生活をしたいと思っている（43.5%）
 - 地域生活に関心がある・興味を示している（26.1%）
- ・希望する居住形態
 - 民間賃貸住宅（61.1%）
 - グループホーム等（16.7%）
- ・退所に向けての問題点
 - 服薬管理を含めた医療的ケアに不安（56.5%）
 - 金銭管理・契約等の面で不安（52.2%）
 - 夜間や緊急時の支援に不安（34.8%）

精神科病院入院患者調査

- ・入院患者の症状
 - 寛解・いわゆる社会的入院（5.2%）
 - 症状残存だが支援により退院可能（7.9%）
- ・退院に向けての必要資源【住まい】
 - グループホーム（35.1%）

基本方針

障がいのある人の自己決定、自己選択を尊重し、個々のニーズに対応した支援体制の整備とサービス提供基盤の一層の充実を図ります。

障がいのある人が地域で安心して暮らすことができるよう、ボランティア、事業者等の地域の福祉力との連携により、ライフステージに応じた切れ目のない相談支援・サービス提供の充実を図ります。

基本施策1 個々のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備

重点取組・重点事業（イメージ）

障害福祉サービス等

相談支援体制、連携体制

サービスについての情報提供

障がい特性やライフステージに応じた支援の実施

移動支援事業、交通費助成制度

住まいの場

高齢化対策

権利擁護（北海道障がい者条例）

生活安定のための支援（経済的支援）

基本施策 2 地域生活への移行推進

重点取組・重点事業（イメージ）

施設入所者に対する地域移行支援

精神科病院入院患者に対する地域移行支援

基本施策 3 福祉用具などの普及促進・利用支援

重点取組・重点事業（イメージ）

補装具費・日常生活用具、福祉用具

基本施策 4 地域福祉を担う人材育成・確保

重点取組・重点事業（イメージ）

ボランティア等の人材育成

< 障がい児者実態等調査から >

施設入所者調査では、退所に向けての問題点として、服薬管理などを含めた医療的ケアを受けられるかどうか不安があるという意見が多い。

精神科病院入院患者調査では、退院に向けての必要資源として、訪問看護サービスを挙げる意見が多い。

きほんほうしん 基本方針

健康づくりや各種検査に関する普及・啓発を推進し、障がいの予防、早期発見・早期療育を図ります。

障がいのある人に対する保健・医療サービスの充実を図り、地域生活を支援します。

基本施策1 障がいの予防対策、早期発見・早期療育の充実

重点取組・重点事業（イメージ）

健康づくり、障がいの予防対策

障がいの早期発見・早期療育

母子保健医療

基本施策2 障がいに対する適切な保健・医療サービスの充実

重点取組・重点事業（イメージ）

札幌市版医療計画（仮称）の検討

自立支援医療等

医療費助成制度等

リハビリテーション

難病対策・特定疾患事業

基本施策3 精神保健・医療の充実

重点取組・重点事業（イメージ）

精神保健・医療

精神科救急医療体制の整備の検討

自殺総合対策

< しょうがい児者実態等調査から >

しみんいしきちようさ
市民意識調査

- ・ 3年前と比べて物理的バリアは改善されていると思うか

すこしずつ改善されている (63.9%)

- ・ 札幌市が障がいのある人にとって地域で暮らしやすい都市であると思うか

あまりそう思わない (29.4%)

まあそう思う (25.6%)

- ・ 暮らしやすいと思わない理由

障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などの整備が不十分 (69.6%)

障がいのある人の就労が困難 (62.4%)

障がいのある人を地域全体で支える体制が整っていない (62.8%)

きほんほうしん
基本方針

すべての市民が安心して安全に暮らすことができるよう、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを進めます。

基本施策1 きほんしさく バリアフリーにもと基づくまちづくりのすいしん推進

じゅうてんとりくみ じゅうてんじぎょう
重点取組・重点事業（イメージ）

ふくしのまちづくりじょうれい祭例

しん・札幌きつぽろバリアフリー基本構想

バリアフリーじゅうたく住宅の整備（しえい市営住宅など）

こうつうきょく交通局におけるあんぜんたいさく安全対策

基本施策2 きほんしさく 雪対策、ゆきたいさく 災害時等さいがいじとうの安全対策あんぜんたいさくの推進すいしん

じゅうてんとりくみ じゅうてんじぎょう
重点取組・重点事業（イメージ）

さっぽろしふゆ札幌市冬のみちづくりプラン（ゆきたいさく雪対策）

さっぽろしちいきぼうさいけいかく
札幌市地域防災計画

さっぽろしさいがいじょうえんごしゃひなんしえん
札幌市災害時要援護者避難支援ガイドライン

< 障がい児者実態等調査から >

障がい児（保護者）に対するアンケート調査では、今後の療育や教育において力を入れるべきこととして、義務教育終了後の進路（就職先）の確保（54.9%）、障がいに応じた教育内容の充実（41.8%）という意見が多い。

きほんほうしん
基本方針

療育、教育、医療、福祉、雇用等の関係機関の連携のもと、乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援体制の充実を図ります。

障がいのある子どもが障がいのない子どもとともに、住み慣れた地域の学校などで、個々のニーズに応じた適切な支援が受けられる環境づくりを推進します。

基本施策1 相談支援体制の充実

重点取組・重点事業（イメージ）

ライフステージに応じた一貫した相談支援

基本施策2 早期療育の充実

重点取組・重点事業（イメージ）

早期療育の充実

「3 保健・医療」の分野に掲載

幼稚園・保育所・児童会館での支援体制の整備

基本施策3 学校教育の充実

重点取組・重点事業（イメージ）

特別支援教育

基本施策4 卒業後の支援

重点取組・重点事業（イメージ）

社会的・職業的自立の促進

< しょうがいじしやじつたいとうちようさ から >

しょうがいじしやたい しょうがい者に対する アンケート調査 では、しごとをつづ 仕事を続けるうえで必要
なこととして、じぶんあ しごと はたら ば み 自分に合った仕事や働く場を見つけてくれるところが
ある(37.3%)、しよくば しごと 職場で仕事がしやすいように しえん 支援してくれる(29.6%)
きんむじかん ちょうせい 勤務時間が調整できる(24.6%)の意見が多い。

きほんほうしん 基本方針

しょうがいのあるひと ちいきせいかつ きさき 障がいのある人の地域生活を支えるため、そのひとあ しょうろう 就労
しえん じゅうじつ ほか 支援の充実を図ります。

こよう ふくし きょういくとう かんけいきかん ねんけい しえんとう つうじて しょうろう 就労
しえん じゅうじつ きょうか ほか 支援のさらなる充実・強化を図ります。

基本施策1 相談支援体制の充実

重点取組・重点事業（イメージ）

ハローワーク等の関係機関との連携

就業面と生活面の一体的な相談支援

基本方針2 雇用の場の拡大（一般就労、福祉的就労）

重点取組・重点事業（イメージ）

障がい者の就労・雇用に対する理解促進

国の障がい者雇用施策との連携

就労支援サービス等

福祉施設等における仕事の確保

基本施策3 福祉施設から一般就労への移行推進

重点取組・重点事業（イメージ）

福祉施設から一般就労への移行推進

分野 7 情報・コミュニケーション

基本方針

情報バリアフリー化を推進し、障がい特性に応じた情報提供の充実を図り、自立と社会参加を支援します。

基本施策 1 情報バリアフリー化の推進

重点取組・重点事業（イメージ）

日常生活用具（情報・意思疎通支援用具）

情報バリアフリー化

選挙における情報提供

基本施策 2 情報提供の充実

重点取組・重点事業（イメージ）

分かりやすい広報

さまざまな媒体を活用した情報提供

公共施設等における効果的な情報提供

基本施策 3 コミュニケーション支援体制の充実

重点取組・重点事業（イメージ）

コミュニケーション支援事業

基本方針

スポーツや文化活動を通じて、障がいのある人と障がいのない人との交流の機会を充実し、障がいに対する理解促進を図ります。
障がい者スポーツ、障がい者の文化活動を支援し、心豊かな地域生活を支援するとともに、障がいに対する理解促進を図ります。

基本施策 1 スポーツ、文化活動、生涯学習の支援

重点取組・重点事業（イメージ）

スポーツ・文化活動の振興

生涯学習の振興